

いつしよに
未来を
つくるろ



Azalea



号外

【発行人】

山本 明広

【編集人】

三村 眞充

北山 栄作

泉 茂登子

↓ 最新組合情報をアップしています！

長岡京支部ホームページ <http://www.pscsu.jp/> [ID]pscsu [パスワード]kamenaka0801

ライフサポート 2020年度福祉一斉募集 保障相談会開催報告

日時:2020年5月13日(水)~27日(水) 場所:組合事務所 会議室およびSkype会議

株式譲渡に伴う各種制度変更に対してどのように対応すればよいか、その考え方について、動画と保障相談会で解説しました。保障相談会では、「制度説明」だけではなく、「TSA期間終了後に代わる保障」や「電機連合の各種共済と社内制度の上手な活用方法」を、相談者の加入状況に応じて紹介しました。

解説動画は、3部で500回を超える視聴をいただきました。ありがとうございました。

1.2020年度一斉募集取り組みに関する動画

- 第1部 わが家の必要保障額(死亡保障)について(40分)
- 第2部 医療保障(共済・保険)の考え方(31分)
- 第3部 会社譲渡後の共済・保険について(17分)

2.2020年度福祉一斉募集のポイント

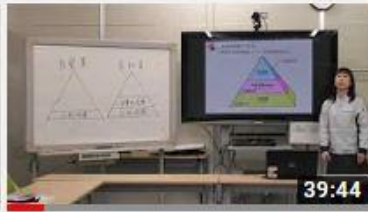
1. TSA後にどのように共済・保険が代わるのか
2. 共済会・パナソニック保険サービス㈱と組合関連の継続保障期間と変更時期について
3. 福祉一斉募集時に取り組んでおきたい内容について
4. 将来を見据えた保障について
5. 共済・保険を切り替えるタイミングについて

※死亡時に必要な保障額と、病気やケガをした時に必要な保障額を、改めて考えていただく機会とし、今後の共済・保険について確認していただきました。



2020福祉一斉募集 TSA後の
共済・保険について

226 回視聴・1 か月前



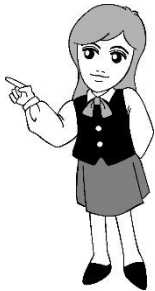
2020福祉一斉募集 わが家の
必要保障額

186 回視聴・1 か月前



2020福祉一斉募集 医療保障
(共済・保険)の考え方

113 回視聴・1 か月前

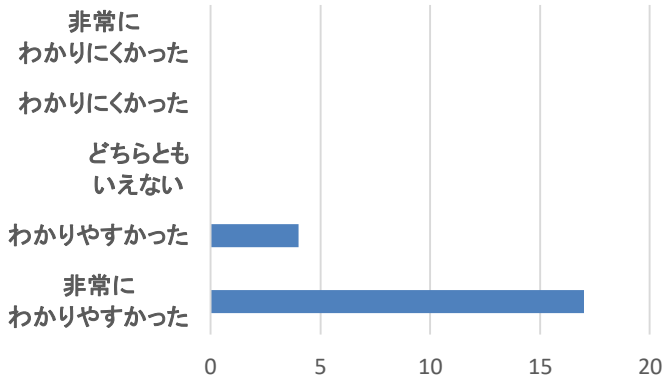


3.保障相談会のアンケート結果 回収率:21/27名 78%

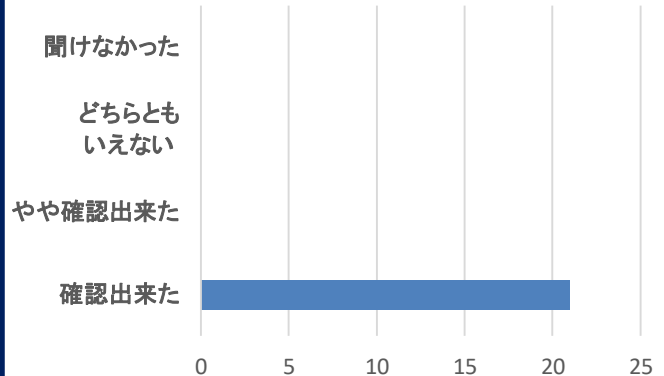
年代は、

30代 1人、40代 3人、50代 17人

保障診断(相談)如何でしたか？



自分の聞きたかった内容を確認出来ましたか？



4. 保障相談された方の声



- ・ありがとうございました。助かりました。
- ・相談させて頂き大変ありがとうございました。結局、ニッセイさんの保険で解約時には今まで支払った金額の65%程度が戻るといのがあとで気がついたので、そのままの状態です。（これを積立とらえておいて良いのかもありますが、現時点では一旦その認識で妻はそのままとしました。自分も時間切れでそのままです。）また、相談させて頂くかも知れませんがその時はよろしくお願いします。
- ・分かりやすく親身になって相談にのって頂きました。
- ・北陸勤務の為、このようなサポートが無いと大変困る事が想定されますが、今回、親切にサポートいただき大変助かりました。今後、TSA関係により確認が必要になる局面が生じる事から、今後も継続して必要に応じて、サポートをお願いしたいと思います。
- ・ここ数年、色々と相談させて頂き、都度状況に合わせて見直してきましたので、今年の一斉募集では大きな見直しはありませんでした。
- ・今回の相談では、株式譲渡に伴う1年先、あるいは2年先の制度変更を考慮したご提案を頂き、これから先の保障の方向性を整理することが出来ました。加えて、娘の保障についても色々アドバイスを頂きまして、とても助かりました。今後も相談させて頂くと思いますので、その際は、また、よろしくお願いいたします。
- ・分からない事だらけで相談に行ったが、丁寧に教えていただき非常に助かりました。見直しや今後の保険についても理解でき、今後の保険の考え方について勉強になりました。ありがとうございました。
- ・不明な点がすべて明確になりました。
- ・変更したいプランを事前に伝えて的確なアドバイスをいただき、不明点も都度メールにて連絡をいただきましたので、そのプラン変更申請を進めております。今後も、困ったことがあれば、相談したいと思っています。
- ・TSA後、自社運営になる保険の相談でした。労組・共済会・保険別に分り易い説明でした。ありがとうございました。
- ・非常に助かりました。今後も利用させてください。
- ・セミナーに参加していましたので、電機連合の共済のメリットが理解出来ていましたが、加入時にはやはり念押しのために保険相談は必要だと思います。外部の保険（アフラックなど）も組合経由で保険相談出来るということですので、今後、必要に応じて活用させていただきます。
- ・将来に向けた保険の考え方が整理でき、また見直しができ非常に役立ちました。ありがとうございました。
- ・非常にわかりやすく、必要保障額の考え方およびTSA終了後も考慮した保障に不足なく見直しできる保険のご提案を頂き、掛金も減額することができたので、年金の方へ増額でき非常に満足しております。ありがとうございました。
- ・今回、初めて相談をさせていただき、もっと以前に保険に興味を持って勉強すれば良かったと気づきました。また、機会がありましたら、よろしくお願いいたします。貴重な時間を有難うございました。
- ・たいへん丁寧にご対応いただきありがとうございました。また、外部保険会社等へ連携もしていただき助かりました。今後も、同様の相談会を実施いただけるとありがたいです。
- ・丁寧に説明して頂き、よく理解出来ました。今後も続けて頂きたいと思います。
- ・TSA後の保険加入の相談について、Skype会議にてわかりやすく説明頂き非常に助かりました。私の理解不足により質問自体をうまくできないことについても、それ以上の説明を先回りで行って頂き、理解が深まりました。制度全体象および詳細、進めるための考え方について、かなりクリアに理解を行え、保険加入についての心配面が解消しました。相談を申し込んで良かったです。ご対応、誠に有難うございました。
- ・引き続き、よろしくお願いします。
- ・退職後の保険に関しても丁寧な説明で判り易く良かったです。無駄が無い保険会社にも確認していただき、とても満足しております。
- ・保障相談ありがとうございました。保障内容を見直す良い機会となった。今後もわからない内容があれば随時相談をお願いしたいと思った。
- ・今までありがとうございました。組織変更等で相談に乗ってもらえる方がいなくなると残念だと思います。



Thank you

◆皆さまのご意見を
そのまま掲載しております。



5. 保障を充実して削減出来る保険料。体験談を2名ご紹介します！

数年前より保険の見直しを考えていましたが、福祉一斉募集の期間が過ぎると面倒になりほったらかしにしていた。今回、会社を取り巻く環境が大きく変わることも踏まえ、組合主催の「福祉一斉募集の保障相談」を利用させていただきました。

■ 保険見直しにあたり以下の4点に重点をおきました。

- ・ 子供が独立し夫婦だけになったが、死亡保障の金額が多すぎないか。
- ・ グループ生命、終身医療保険、パナファミリー傷害保険、がん保険等と複数の保険に加入しているが、保障内容がダブっていたり、過不足はないか。
- ・ がん通院等治療スタイルが現在の状況に即しているか。
- ・ 今後、賃金が見据え、保険料を減額することができないか。



50代 Aさん(男性)
社内保障の見直し

保障相談をさせていただき、電機連合けんこう共済を軸にし、従来のグループ生命等の保険・共済を見直しました。死亡保障については、電機連合ファミリーサポート共済への加入によりグループ生命共済の保障額を減額。医療・傷害およびがんの保障については、電機連合けんこう共済、グループ生命共済、パナファミリー傷害保険の組合せにより終身医療保険を解約、けんこう共済のがん特約の加入して、現在加入のがん保険を解約しました。今までが保障されていなかった通院保障に重点をおいたがん保障にも加入出来ました。また、新たにけんこう共済の介護特約に加入することにより介護保障を拡充出来ました。

結果的に、保障がダブっていた保険を解約し、保障内容の充実と掛金の**減額（▲107千円/年）**が実施できました。

最後に、保障相談会では保障の考え方や素朴な疑問について親切丁寧に教えていただけるので、保険の見直しを検討されている方はぜひ参加してみてください。将来を見据えた保障が可能になりますよ！

昔から保険のことが良く分からない私は、結婚後保険のことは妻に任せきりでした。加えて、私たち夫婦も、お互いの両親も特に大病もなくがん保険などは不要で、最低限の保障で良いと考えてきました。その後、パナソニックに中途入社した私は、毎年の福祉一斉募集パンフレット一式を妻に手渡すだけでした。

一方で子供が増え、また大きくなるにつれ、自分が万一の時の保障は大丈夫なのかなと考えたり、自分より若い人が、がんの治療費に困っているなど聞く機会が増えてきたこともあり、保険のことを理解出来るかどうか分からないけど、聞くだけ聞いてみようかと相談に申込みました。

相談の中では、無知な私にも一から話しをしてくれて、相談の回数を重ねると自分も妻と同レベルで会話できるようになりました。相談の中では、国からもらえる遺族年金や会社からもらえる企業内保障の額の計算と自分が必要とする保障額の算出方法を教えてくれます。妻に、「自分が必要と考える保障金額はいくらで、その内、国がいくら、会社からいくら保障してくれるから、個人の必要保障はいくらを設定する。そうすると掛金はいくらになって、従来より月額いくら減らせるよ」と報告できるようになりました。

従来より充実した保障を設定しても、掛金が少なくて済むことも分かりました。悲しい事ですが、自分が早めに死んだ方が金銭的には、家族が楽になるんだなということも分かりました。

削減できた「月額の掛金×月数×年数」で手元にお金が残ることを考えると、今回の保険も数年経てば状況も変わるので、定期的に見直しをすべきと考えるようになりました。

新会社への移行による不安が募る今日この頃ですが、自分の不安材料を一つでも減らし、安心材料を増やす試みをお勧めします。



30代 Bさん(男性)
保険会社からの見直し

従来の保障よりも保障金額を上げても、掛金の削減が出来ました。
また、今後も、状況に応じて定期的に見直しをすべきだとわかりました！

学資保険はそのまま残し、保障金額を増額したにもかかわらず、
月額 約5,000円の削減

1. 子ども(2人)の死亡保障・医療保障、傷害保険(1人)の追加
2. 入院日額の増額(夫婦・子ども3人)
3. 本人・配偶者と両親(3人)の介護特約に追加加入しました！

年間支払額

32.3 万円

保険会社

Before

削減できたお金は、将来の貯蓄へ

約6 万円

26.4 万円

グループ生命共済
電機連合共済

After

社内/電機連合の
共済を有効活用

